



2022年5月12日

各位

会社名 株式会社ペイロール
代表者名 代表取締役社長 湯浅 哲哉
(コード番号：4489 東証グロース)
問合せ先 取締役 畠山 清治
(TEL. 03-5520-1400)

株主還元方針の変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、株主還元方針を下記のとおり変更いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 変更の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題のひとつとして位置づけておりますが、中長期的な視点において、更なる株主還元の充実を図ることを追求いたしたく株主還元方針を変更するものであります。

2. 変更内容

(下線部分は変更箇所を示しております。)

変更前	変更後
当社は、株主に対する利益還元を重要な経営上の施策の一つとして認識しております。一方で、将来の成長投資に必要となる内部留保の充実と、財務基盤の確立、株主への利益還元を総合的に勘案することが大切だと考えており、当社の資本コストを上回る投資案件がある場合には、企業価値向上につながる戦略的投資を実行し、持続的な売上収益及び利益の成長を実現することと、それを可能とする健全な財務基盤の確立を優先することが、株主の皆様との共通の利益の実現に資すると考えております。したがって当社は、長期的には30%程度の連結配当性向を目標としつつ、当面の間は上記政策に沿う範囲の中で、株主の皆様に対して、安定的かつ継続的な増配を実現する形で剰余金の配当を行うことを基本方針としております。	当社は、株主に対する利益還元を重要な経営上の施策の一つとして認識しております。一方で、将来の成長投資に必要となる内部留保の充実と、財務基盤の確立、株主への利益還元を総合的に勘案することが大切だと考えており、当社の資本コストを上回る投資案件がある場合には、企業価値向上につながる戦略的投資を実行し、持続的な売上収益及び利益の成長を実現することと、それを可能とする健全な財務基盤の確立を優先することが、株主の皆様との共通の利益の実現に資すると考えております。したがって当社は、長期的には30%程度の連結配当性向を目標としつつ、当面の間は上記政策に沿う範囲の中で、株主の皆様に対して、安定的かつ継続的な増配を実現する形で剰余金の配当を行うことを基本方針としております。 <u>なお、配当性向30%程度を達成した段階においては、キャッシュポジションおよびROE水準と財務レバレッジ状況を総合的に勘案し、更なる企業価値の向上を図るための成長投資に備えるとともに、余剰資金については積極的な配当を行ってまいります。</u>

3. 変更の時期

2023年3月期より適用いたします。

以上